



取扱説明書 活用ガイド

パーソナルコンピューター

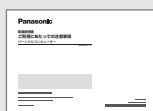
品番 CF-SC シリーズ

本書は、パソコンを使用するにあたっての注意事項や、詳しい操作および設定方法、トラブルが発生した場合の解決方法について説明します。

◆ このパソコンにトラブルがあったときは
➡ 本書の「困ったとき」をご覧ください

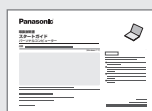
本製品には、本書以外にも以下の取扱説明書があります。目的に応じてご利用ください。

取扱説明書（付属品）



『取扱説明書 ご利用にあたっての注意事項』

- 安全上のご注意
- 法規情報など



『取扱説明書 スタートガイド』

- 付属品の確認
- 電源を入れる
- Windows をセットアップする
- 使用上のお願い
- 保証とアフターサービスなど

取扱説明書（Webのみ）

WebページのURLは上記の『取扱説明書 スタートガイド』をご参照ください。

『取扱説明書 基本ガイド』

『取扱説明書 操作マニュアル』

『取扱説明書 Windows入門ガイド』

表記について

- 本書では、指定がない限り「Windows 11 Pro」を「Windows」または「Windows 11」と表記します。
- イラストや機能、画面、仕様など本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書では、フラッシュメモリードライブを「SSD」と表現する場合があります。
- 本書は、Windows 11 バージョン 24H2 の状態で説明しています。
Windows 11 のアップデートや購入時期により画面表示や操作手順が変更になる場合があります。

表記やご注意事項

使用上のお願い.....	5
使用/保管に適した環境.....	5
使用中に本機が熱いと感じたら.....	5
データ保護.....	6
Windows 11 プリインストールモデル のサポート情報	
→『取扱説明書 操作マニュアル』 「重要な情報、操作や設定について」 「Windows 11 プリインストールモデル のサポート情報」	
持ち運ぶとき.....	6
お手入れ.....	7
気温が高い場所でお使いになる場合.....	8
周辺機器の使用について.....	8
周辺機器を使用していて パソコンが熱くなった場合.....	8
USB 機器への充電について.....	8
常時給電機能付き USB Type-A ポートについて.....	8
リカバリーディスクは大切に 保管してください.....	8
リカバリーディスクの作成方法について	9
Wi-Fi (無線 LAN) ご使用時の セキュリティについて.....	9
音声や動画について.....	9
表記について.....	10
デスクトップ画面の表示について..	11
システム トレイのアイコン (表示されていない場合は、  をクリック すると表示されます).....	11
画面の明るさを調整する.....	11

詳しい使い方

電源を入れる/切る(再起動する) .	12
電源を入れる.....	12
電源を切る(再起動する).....	13
席を外すなど、操作を中断する.....	14
ホイールパッドを使う.....	15
感度を調節する.....	15
有効/無効を切り替える.....	15
取り扱い.....	16
Fn キーを使う.....	17
セキュリティについて	
→『取扱説明書 操作マニュアル』 「セキュリティ」	
バッテリーについて.....	19
駆動時間について.....	19
バッテリーパックの劣化を抑える.....	19
バッテリーパックの交換について.....	19
セットアップユーティリティ.....	20
セットアップユーティリティを 起動する/終了する.....	20
ユーザーパスワードで制限される項目..	22
セットアップユーティリティを操作する	23
「情報」メニュー.....	24
「メイン」メニュー.....	24
「詳細」メニュー.....	25
「起動」メニュー.....	27
「セキュリティ」メニュー.....	28
「終了」メニュー.....	35
パーティションについて	
→『取扱説明書 操作マニュアル』 「重要な情報、操作や設定について」 「パーティションについて」	

困ったとき

起動/終了/スリープ状態/休止状態のQ&A

本機が起動しない/バッテリー状態表示ランプが点灯しない.....	36
電源は入るがWindowsが正常に起動しない.....	36
電源を入れると「Windowsを再インストールする」画面が表示される.....	36
Windows起動時に音が途切れる.....	37
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された.....	37
ユーザー名を変更したらサインインできなくなった.....	37
Windowsの起動や動作が遅い.....	37
スリープ状態/休止状態からリジューム(復帰)しない.....	37
予期せずに休止状態に入った.....	37
顔認証搭載モデルをお使いの場合、Windows Hello (顔認証) でサインイン(復帰)できない.....	38
電源が切れない (Windowsが終了しない).....	38

パスワード/メッセージのQ&A

パスワードを入力しても再度入力を求められる.....	39
キーを押しても文字が入力されない.....	39
「パスワードを入力してください」が表示された.....	39
「ストレージパスワード (XXX)」が表示された.....	39
ストレージパスワードが設定されているか確認したい.....	39
顔認証搭載モデルをお使いの場合、屋外でWindows Helloの顔認証によるサインインができない.....	39
管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを忘れた.....	40
Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示された.....	40

バッテリーのQ&A

カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短い.....	41
バッテリーパックの交換時期(寿命)を知りたい.....	41
バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯している.....	41
バッテリー状態表示ランプが赤色に点滅している.....	41
バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点滅している.....	41
バッテリー状態表示ランプが緑色に点滅している.....	41
「バッテリー残量表示補正」画面が表示された.....	41

ポインターと画面表示のQ&A

ホイールパッド使用時ポインターが動かない	42
ポインターが勝手に動く	42
タップしたときにポインターが飛ぶ	42
マウス接続時ポインターが動かない	42
残像が表示される	42
マウス接続時ホイールパッドを無効にする	43
画面が暗い/明るさが変わった(暗くなった/明るくなった)	43
画面に黒い点や、緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されない/画面の色や明るさにむらが見える	43
文字がにじんだりぼやけたりする	43
画面が乱れる	43
一瞬真っ黒になる	43
何も表示されない	44

リカバリーディスクのQ&A

リカバリーディスクの作成方法がわからない	45
----------------------	----

その他のQ&A

仕様がわからない	46
Windowsの操作がわからない	46
周辺機器が動かない	46
アプリケーションソフトが動かない/おかしい	46

ハードウェアを診断する

PC-Diagnosticユーティリティで診断するハードウェア	47
操作のしかた	48
診断する	48
アイコンがグレー表示になり診断できない場合	50

PCを初期状態にする

初期状態にする	51
---------	----

フラッシュメモリードライブを復元する

- ➡『取扱説明書 操作マニュアル』
「重要な情報、操作や設定について」
「フラッシュメモリードライブをバックアップする/復元する」

再インストールする

再インストールとは	52
再インストールの前に	53
再インストールする	53
リカバリーディスクを使う	55

本機の廃棄・譲渡時

パソコンの廃棄・譲渡時におけるデータ消去について	56
--------------------------	----

エラーコードが表示されたら

	57
--	----

お問い合わせについて

お客様ご相談センター	58
修理に関するお問い合わせ	58

アプリケーションソフトの問い合わせ先

	59
--	----

フィルタリングについて

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について	60
----------------------------------	----

さくいん

さくいん	61
------	----

さらに詳しい情報は、『取扱説明書 操作マニュアル』をご覧ください。
保証とアフターサービスについては、付属の『取扱説明書 スタートガイド』、または『取扱説明書 基本ガイド』をご覧ください。

使用上のお願い

使用 / 保管に適した環境

- 平らで衝撃、振動、落下のおそれがない安定した場所
パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

- 使用時の環境
温度：5℃～35℃
湿度：30%RH～80%RH
(結露なきこと)

- 保管時の環境
温度：-20℃～60℃
湿度：30%RH～90%RH
(結露なきこと)

- 上記の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けたり、本機の近くでの喫煙や、油を使用する場所、ほこりの多い場所での使用は、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。
- バッテリーパックを、極端に高温または通常は立ち入らない高地のように極端に低い気圧の中で充電、使用、放置しないでください。爆発や可燃性液体のもれの原因になります。
- 熱のこもらない環境
 - 保温性の高いところ（ゴムシートや布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
 - 放熱の妨げとなりますので、タオルや市販の一般的なキーボードカバーなどで覆わずにお使いください。
 - 本体のディスプレイは、開いた状態でお使いください。ディスプレイを閉じた状態でも、発煙・発火・故障のおそれはありませんが、温度が上がると動作が遅くなったり、パソコンの向き（立てて置くなど）によっては保護のため電源が切れたりする場合があります。
 - 通風孔（排気）付近は特に熱くなります。本機を長時間膝の上に載せて使用しないでください。
- 長時間連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

- 航空機利用時は電源を切る。
やむをえずこのような環境で本機を使用する場合は、次のことを守る。
 - (タスクバーのをクリック)->(設定)-[ネットワークとインターネット]-[機内モード]をクリックし、機内モードを[オン]に設定する。
(すべてのワイヤレスデバイスが[オフ]に設定されていることを確認してください)
 - パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
 - 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。

使用中に本機が熱いと感じたら

- CPUの動作や充電時の電流などにより本機やACアダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
本機の発熱が気になる場合は、必要に応じて次の手順でファン制御モードを[本体冷却優先]に設定してください。
(タスクバーのをクリック)-[PC Hub]-[デバイス]-[ファン]の「熱とファンの制御」の[本体冷却優先]をクリックする。
CPUの使用率が高くない場合や、冷却ファンの回転音などが気になる場合は、必要に応じて次の手順でファン制御モードを[標準(パフォーマンス優先)]または[静音性優先]に設定してください。
(タスクバーのをクリック)-[PC Hub]-[デバイス]-[ファン]の「熱とファンの制御」の[標準(パフォーマンス優先)]または[静音性優先]をクリックする。
- 無線LANをご利用にならない場合は、Windowsの設定画面で無線機能をオフにする。
- 1カ月に一度程度、ダストカバー内部のお手入れをしてください。(➡7ページ)



ACアダプターは、使用中熱くなりますが異常ではありません。

データ保護

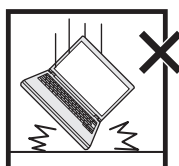
データ保護のために次のことをお守りください。

- データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。

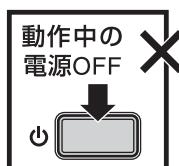


→『取扱説明書
操作マニュアル』
「セキュリティ」

- パソコンの取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。



- Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびSSDアクセスランプの点灯中は、電源を切らない。



トラブルを避けるため、
(タスクバーの[]を
クリック)-[電源]-
[シャットダウン]を
クリックして電源を
切ってください。

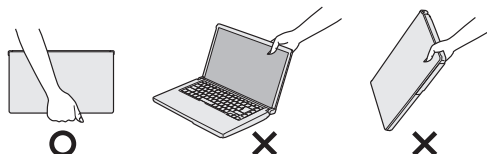
持ち運ぶとき

お守りください

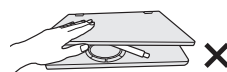
本機は精密機器ですので、取り扱いには十分注意してください。衝撃による故障は保証しかねます。

- 電源を切る。
- USB機器やケーブル、本体から突き出たものなどをすべて取り外す。
- 落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。

- 持ち運ぶ際は、ディスプレイやディスプレイ周りのキャビネット部を持たない。



- キーボード上にペンや書類、ノート、イヤホンなどをはさんだ状態のままディスプレイを閉じない。



- スペースの少ないカバン、パソコンケースなどに硬いものと重ねて詰め込まない。



- 自転車のかごに入れて運搬しない。
(非常に強い振動・衝撃が継続して加わり故障の原因になります)



- 液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているときは、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お勧めします

- ACアダプターと、予備のバッテリーパック(別売り)を用意する。
- 予備のバッテリーパック(別売り)は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。
- USBメモリー、外付けハードディスク(いずれも市販品)などにデータのバックアップを取る。

お手入れ

重要

- ホイールパッドなどディスプレイ以外の部分に汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。
- 本機を乾燥させるために電子レンジに入れないでください。
- 清掃による故障の場合、保証期間にかかわらず修理は有償となりますのでご注意ください。

ディスプレイのお手入れ

- ディスプレイのお手入れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ディスプレイ表面に水滴や汚れなどが付いたらすぐにふき取ってください。放置するとディスプレイ表面に跡が残ることがあります。

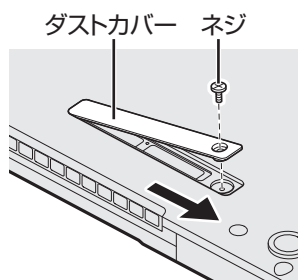


- お手入れ方法
 - ・ 布には水や薬品を付けないでください。
 - ・ 画面の清掃は電源を切った状態で行ってください。
電源が入った状態で清掃すると誤操作の原因になります。また、画面の汚れは電源が切れているときの方が目立つため、清掃がしやすくなります。
 - ・ 指紋などで画面が汚れた場合や、画面の表面がぬれた場合は、必ず乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・ 画面に付着した砂やほこりはあらかじめ、布の片面で軽くふき取ってください。
このとき、強くふき取ると砂やほこりで画面の表面を傷つけることがあります。
次に、砂やほこりをふき取った面と反対の面で、指紋などの汚れをふき取ってください。
- ・ 本機を使用する前に、画面の表面をふくことをお勧めします。

ダストカバー内部の清掃

- ダストカバー内部の清掃方法
1 カ月に一度程度清掃してください。
 - ① パソコンの電源を切り（➡ 13 ページ）、ACアダプターを取り外す。
 - ② ディスプレイを閉じ、パソコンを裏返す。
 - ③ バッテリーパックを取り外す。
 - ④ ネジを取り外してダストカバーを引き抜いて外す。



- ⑤ ダストカバー内部を清掃する。
- ⑥ ④の逆の手順でダストカバーを取り付ける。

重要

- ダストカバー内部の清掃には洗剤は使用しないでください。
- エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
- ダストカバー内部にほこりや綿くずが堆積している場合は、掃除機などを用いて吸い出してください。
- ほこりなどを吸い込まないようにご注意ください。
- ダストカバー内部に液体をこぼしたり、ネジを落とさないでください。
- 清掃による故障の場合、保証期間にかかわらず修理は有償となりますのでご注意ください。

気温が高い場所でお使いになる場合

- 気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。

周辺機器の使用について

パソコン、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- 仕様に適合した周辺機器を使用する。
- コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。
- 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

また、本書および『取扱説明書 操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器の説明書をご覧ください。

周辺機器を使用していてパソコンが熱くなった場合

気温が高い場所でバッテリーパックのみで駆動し、かつUSB 機器などの周辺機器を接続している場合、パソコンが高温にならないように自動的に休止状態に入ることがあります。休止状態に入ったら周辺機器を外し、しばらくたって温度が下がってからリジューム（復帰）してください。

USB 機器への充電について

本機の「電源オフ中のUSB 充電」を有効にすると、本機の電源をオフにしても常時給電機能付きUSB Type-A ポートまたは、USB Type-C ポートに電力が供給され、USB 機器を充電できます。

AC アダプターを接続しない場合は、本体バッテリーから電力を供給して、USB 機器を充電します。

→『取扱説明書 操作マニュアル』『周辺機器』『USB 機器を充電する』の「電源オフ中の充電設定をする」

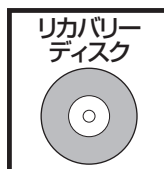
- USB ポートに異物を挿入しないようご注意ください。
- 設定を有効にした場合、AC アダプターを接続しないと、バッテリーの消費が早くなりますのでご注意ください。

常時給電機能付き USB Type-A ポートについて

常時給電機能付きUSB Type-A ポートにACアダプター付きのUSB ハブを接続した状態でパソコンの電源を入れるとUSB ハブが動作しない場合があります。

この場合は、USB ハブを抜いて挿し直してください。画面に「ハブポートの電力サージ」と表示されているときは、画面の指示に従ってUSB ハブを抜き、「リセット」をクリックしてください。

リカバリーディスクは大切に保管してください



リカバリーディスクは、SSD から再インストールを実行できない場合などに必要です。

リカバリーディスクの作成方法について

リカバリーディスクの作成方法については、次のWebページをご覧ください。
<https://jp-pc-support.connect.panasonic.com/recv/re231003>
「リカバリーイメージ ダウンロードサービス」



Wi-Fi (無線LAN) ご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線LANのセキュリティに関する設定は行われていません。

無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

➔『取扱説明書 操作マニュアル』「無線機能」
「Wi-Fi (無線LAN) について」の「Wi-Fi (無線LAN) に接続する」

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線LANアクセスポイント(市販品)との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。

その反面、ある範囲であれば障害物(壁など)を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
 - ・ IDやパスワード
 - ・ クレジットカード番号などの個人情報
 - ・ メール内容
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
 - ・ 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
 - ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)

- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・ コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する(破壊)

無線LANアクセスポイントや本機の無線LAN機能には、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントに合わせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

音声や動画について

- AVIファイルを再生する場合
アプリケーションソフトをたくさん起動するなどしてパソコンに負荷がかかっている場合や気温が高い場所で使っている場合、AVIファイルの再生時に音声や映像が途切れることがあります。このときは、次の操作を行うと改善される場合があります。
 - ・ 使っていないアプリケーションソフトを閉じる。
 - ・ 使用環境温度を低くする。

表記について

	キーボードの  を押すこと。
 + 	キーボードの  を押しながら、  を押すこと。  と  の機能を入れ換えてお使いの場合 (➡24 ページ) は、 を  に置き換えてご覧ください。
➡	参照先

- 本書では、パソコンの管理者の権限でサインインした場合の手順や画面表示で説明しています。
標準ユーザーのアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、パソコンの管理者の権限でサインインして操作してください。
- 本書では、指定がない限り「Windows 11 Pro」を「Windows」または「Windows 11」と表記します。
- 別売りの商品について
最新のカatalogやホームページなどでご確認ください。
予告なく変更することがあります。

- 再インストールについて
本機の取扱説明書上の再インストールとは、SSDをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。
再インストールを実行するとSSDの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
お客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクなどへ必ずバックアップを取っておいてください。
再インストールの方法や確認事項については「再インストールする」(➡52 ページ) をご覧ください。

デスクトップ画面の表示について

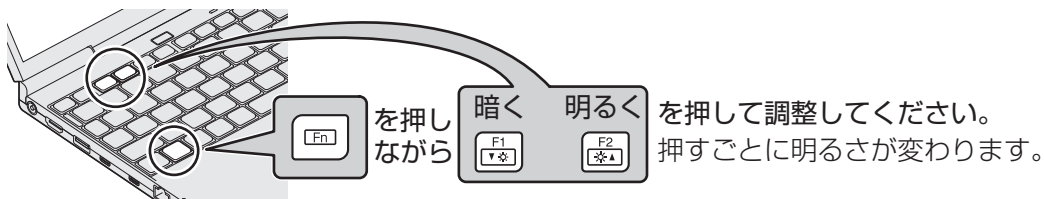
表示例	名 称	働 き
 など	デスクトップのアイコン	ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。
 (画面は一例です)	システムトレイ (デスクトップ画面右下) ▲をクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。	表示されるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。システムトレイには一部のアイコンのみ表示されます。本書で説明しているアイコンが表示されていない場合は、▲をクリックして表示させてください。 (本書で説明しているアイコンは、各種機能の設定や接続している機器など、環境によって、種類や順序が実際の表示と異なる場合があります)

システムトレイのアイコン (表示されていない場合は、▲をクリックすると表示されます)

アイコン	役割
	下記の設定や確認などができます。 ・ネットワーク接続設定(有線LANや無線LANの接続設定に使用) ・各種モード設定(機内モードなど) ・画面の明るさの設定 ・音量の設定 ・バッテリーメーターの確認
	他のBluetooth機器とデータを交換できます。
	表示されているときにクリックすると、通知センターとカレンダーが表示されます。数字は通知の数を表し、通知センターにはアプリやイベントの通知が表示されます。

画面の明るさを調整する

明るくすると、バッテリーの駆動時間は短くなります。



電源を入れる / 切る (再起動する)

電源を入れる

1 電源を入れる。

電源スイッチ  を押す。

- 電源スイッチを押し続けたり、連続して押したりしないでください。

2 電源状態表示ランプ が点灯したら手を離す。

- 起動中は、次のことをしないでください。
 - ACアダプターを抜き挿しする。
 - 電源スイッチを操作する。
 - キーボード、ホイールパッド (外部マウス) に触れる。
 - ディスプレイを閉じる。

3 Windows にサインインする。

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…



本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力し **[Enter]** を押してください。正しく入力すると起動します。(➡31 ページ)

3回間違えるかパスワードを入力せずに約1分経過すると、電源が切れます。



メモ

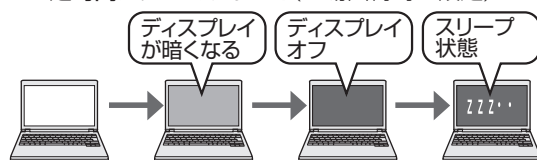


この画面が表示された場合は、SSDのセキュリティのため、ストレージパスワードが設定されています。パスワードを入力し **[Enter]** を押してください。正しく入力すると起動します。(➡33 ページ)

画面の表示が消えたら…

お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと省電力機能が働き、画面が暗くなったり画面の表示が消えたりします。

一定時間アクセスがないと (工場出荷時の設定)



スリープ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。ACアダプターを接続しておくことをお勧めします。

- ディスプレイが暗くなる / オフの状態ではホイールパッド、キーボードを操作するとディスプレイが明るくなる / オンの状態に戻ります。
動作に影響のないキー (**[Ctrl]** や **[Shift]** など) を押すことをお勧めします。
- ディスプレイオフの状態から一定時間本機を操作しないと、スリープ状態に入ります。
下記の操作を行うと元の状態に戻ります。
 - 電源スイッチを押す。
 - キーボードを操作する。
 - ホイールパッドを操作する。
 - ACアダプターを接続する。

電源を入れる/切る(再起動する)

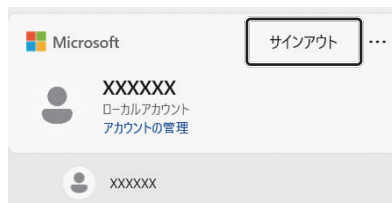
ユーザーを切り替えるときは…

- ① タスク バーのをクリックし、ユーザーアカウントのアイコンをクリックする。

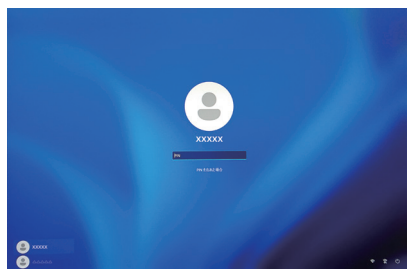


(画面は一例です)

- ② サインアウトをクリックする。



- ③ 切り替えたいユーザーのアイコンをクリックする。



電源を切る(再起動する)

- 1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。
- 2 電源を切る(または再起動する)。
 - ① (タスク バーの)をクリックし、 (電源) をクリックする。
 - ② 「シャットダウン」をクリックする。
(起動し直したい場合は「再起動」をクリックする)
- 3 電源状態表示ランプ④が完全に消灯してからディスプレイを閉じる。



メモ

再起動する場合はディスプレイを開いたまま、12ページの手順3を行います。



重要

- 電源が切れるまでは、次のことをしないでください。
 - ACアダプターを抜き挿しする。
 - 電源スイッチを操作する。
 - キーボード、ホイールパッド(外部マウス)に触れる。
 - ディスプレイを閉じる。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで30秒以上あけてください。
- 長時間で使用にならないときは
 - 節電のため、パソコンの電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。電源コンセントに接続したままにしておくと、ACアダプターをパソコンに接続していなくても電力を消費しています。ACアダプター単体での消費電力については、『取扱説明書 基本ガイド』の「仕様」をご覧ください。
 - パソコンの電源が切れている状態でもパソコンは電力を消費します。長時間で使用にならなかった場合は、次回お使いになる前にACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。バッテリー残量保持期間は、『取扱説明書 基本ガイド』の「仕様」をご覧ください。

電源を入れる／切る（再起動する）

席を外すなど、操作を中断する

「スリープ状態」または「休止状態」の機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。

- **[Fn] + [F7]** を押すと、スリープ状態になります。
- **[Fn] + [F10]** を押すと、休止状態になります。
- 電源スイッチを操作すると元の状態に戻ります。

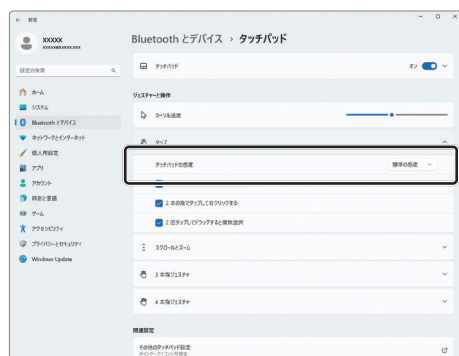
詳しくは、『取扱説明書 操作マニュアル』
「パソコン活用」の「スリープ状態／休止状態を使う」をご覧ください。

ホイールパッドを使う

マウスと同じようにポインターを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
使い方については、『取扱説明書 基本ガイド』「Windowsをセットアップする」の「ホイールパッドの基本操作」をご覧ください。

感度を調節する

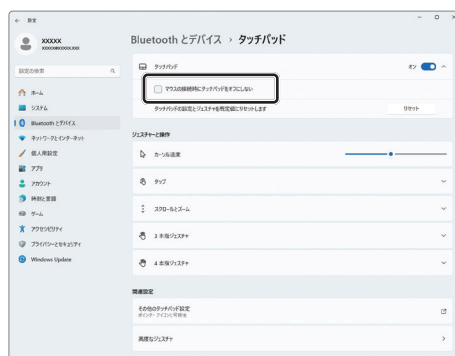
- 1 (タスクバーの  をクリック)-
⚙️ (設定)-[Bluetoothとデバイス]-[タッチパッド]をクリックする。
- 2 [タップ]をクリックし、
「タッチパッドの感度」のプルダウンメニューから感度を選択する。



有効/無効を切り替える

USBマウスの抜き挿しに連動してホイールパッドの有効/無効を切り替えることができます。
ホイールパッドを無効にするには、次の手順で設定します。

- 1 (タスクバーの  をクリック)-
⚙️ (設定)-[Bluetoothとデバイス]-[タッチパッド]をクリックする。
- 2 [タッチパッド]をクリックし、
「マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない」のチェックマークを外す。



重要

- 次の場合は、この機能が動作せずUSBマウス接続時もホイールパッドが有効になります。
 - ・ Windowsを起動した直後
 - ・ ユーザーの切り替えやサインアウトを行ったときに表示されるユーザーの切り替え画面やロック画面
- USBキーボードによっては、USBマウスを接続していなくても、ホイールパッドは無効になります。
- USBマウスによってはこの機能が動作しない場合があります。
- Panasonic PC Hubでホイールパッドの機能を有効にしても、この機能が無効の場合は、USBマウス接続時にホイールパッドおよびスクロール機能を使うことができません。

ホイールパッドを使う

取り扱い

ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。

- 操作面に物を置いたり、爪など先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。
- ホイールパッドに汚れが付着した場合、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か、水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコール、中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど塗装面に影響を与えることがあります。使用しないでください。



メモ

ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、（タスク バーの  をクリック）-

⚙️（設定）-[Bluetoothとデバイス]-[マウス]-[マウスの追加設定]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

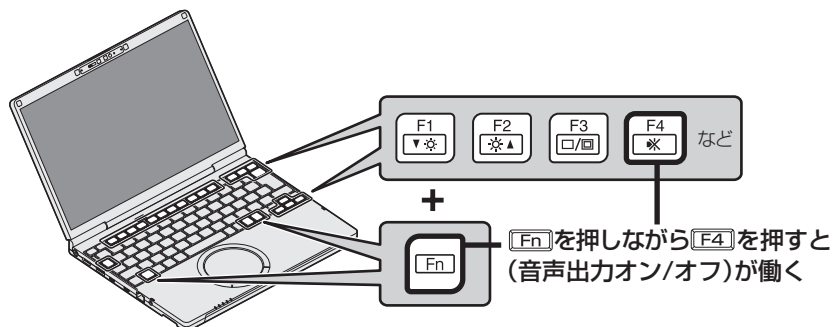
Fnキーを使う

『取扱説明書 操作マニュアル』『ポインティングデバイス/キーボード』の「Fnキーを使う」では、さらに詳しく説明しています。

[Fn]を押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーなどを押すと、次の表のような機能が働きます。

● **[Fn]**と**[Ctrl]**の機能を入れ換えてお使いの場合 (⇒24ページ) :

[Fn]の代わりに**[Ctrl]**を押してください。



● **[Fn]**を押したとき、画面に機能の一覧 (ステータスバー) を表示することができます。

キー	機能	画面表示 (表示は一例です)
[Fn] + [F1] [Fn] + [F2]	内部LCDの明るさを調整します。 [Fn] + [F1] (暗くする) / [Fn] + [F2] (明るくする)	
[Fn] + [F3] または +	キーを押すと右の画面が表示され、外部ディスプレイを接続している場合は画面の表示モードを切り替えることができます ([Fn] + [F3] を押して表示モードを選んだ後、 [Enter] を押すまで切り替わらない場合があります)。	PC画面のみ 複製 拡張 セカンドスクリーンのみ
[Fn] + [F4]	スピーカーやオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。	オン オフ (ミュート)
[Fn] + [F5] [Fn] + [F6]	スピーカーやオーディオ出力端子からの音量を調整します。 [Fn] + [F5] (小さくする) / [Fn] + [F6] (大きくする) 音量を0まで下げると自動的にミュート状態になります。	
[Fn] + [F7]	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスリープ状態に入ります。	—

Fnキーを使う

キー	機能	画面表示 (表示は一例です)
Fn + F8	機内モードを[オン]にします。 解除するにはもう一度押します。	機内モード オン 機内モード オフ
Fn + F9	バッテリーの残量を表示し、充電モードを切り替えることができます。 - 充電優先モード(工場出荷時の設定)： バッテリー残量が約50%以下の場合、CPUの最大性能を制限することにより、充電時間を短縮することができます。 - 通常モード： 充電時間を短縮するための制御を行いません。	バッテリー残量: 96% 充電優先モード 通常モード
Fn + F10	現在のパソコンの状態をSSDに保存して休止状態に入ります。	—
Fn + F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。(SysRq)	—
Fn +	最初のページに移動またはポインターを行の先頭に移動 (Home)	—
Fn +	最後のページに移動またはポインターを行の最後に移動 (End)	—
Fn +	前のページに移動 (PgUp)	—
Fn +	次のページに移動 (PgDn)	—
Fn +	Ctrl + Alt + Del と同じ機能	—
Fn + Tab	マイクの音声入力 of オン/オフを切り替えます。	—
Fn +	コンテキストメニュー (右クリックメニュー) を表示します。	—
Fn + PrtSc	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn + PrtSc : ScrLk	—
Fn + Ins Fn + Del	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn + Ins : Pause Fn + Del : Break	—

バッテリーについて

『取扱説明書 操作マニュアル』「バッテリー」では、さらに詳しく説明しています。

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として一般社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリー動作時間測定法 (Ver.3.0)」を採用しています。

駆動時間を長くするには

次のようなことを行うことで、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

- **[Fn] + [F1]** で内部LCDの明るさを暗くする。
- スリープ状態 / 休止状態を活用する。
パソコンからしばらくの間離れるときは、**[Fn] + [F7]** でスリープ状態、または **[Fn] + [F10]** で休止状態にしてください。
- しばらく使わないときはディスプレイの電源を自動的に切るように設定する。
- 通信しないときは、無線機能を切る。
Windowsの設定画面で無線機能をオフにする。
(タスクバーの  をクリック) -  (設定) - [ネットワークとインターネット] - [機内モード] をクリックし、機内モードを [オン] に設定する。
- 使わない周辺機器 (USB 機器、外部マウスなど) は取り外す。
- CPU に大きな負荷がかかるアプリケーションソフトを使用しない。

バッテリーパックの劣化を抑える

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの耐久年数は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーパックの劣化を抑え、耐久年数を少しでも長くするためには、次の点をお勧めします。

- 周囲の温度が 10℃～30℃ の場所で充電する。
- バッテリーの充電は 1 日 1 回以内。
- パソコンの電源を切った状態で充電する。

バッテリーパックの交換について

バッテリーパックの交換はパソコンの電源を切ってから行ってください。

セッティングユーティリティ

セッティングユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。

「情報」、「メイン」、「詳細」、「起動」、「セキュリティ」、「終了」

モデルによって、表示される項目が異なります。

セッティングユーティリティを起動する / 終了する

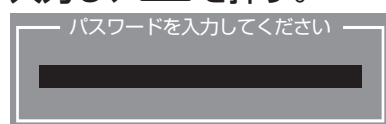
Windows 動作中から起動する

- 1 (タスク バーの  をクリック) -
⚙️ (設定) - [システム] - [回復] -
[PCの起動をカスタマイズする] の
[今すぐ再起動] をクリックする。

確認メッセージが表示された場合は、内容を確認して [今すぐ再起動] をクリックします。

- 2 [トラブルシューティング] - [詳細オプション] - [UEFI ファームウェアの設定] - [再起動] をクリックする。

- 3 パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、 を押す。



下記の画面が表示された場合は、ストレージパスワードを入力し、 を押してください。

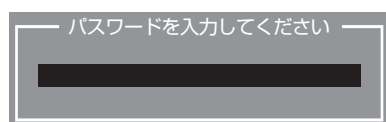


- セッティングユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
本機に外部ディスプレイを接続していても、内部LCD側に表示されるようになります。ただし、内部LCDを閉じると、外部ディスプレイ側に表示されるようになります。
- パスワードを設定していても [起動時のパスワード] が [無効] になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。また、[再起動時のパスワード] が [無効] になっている場合、パソコンの再起動時にパスワードの入力は不要です。
セッティングユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定時や入力時にキャップスロックになっていると、その状態をお知らせする画面が表示されます。

セットアップユーティリティ

Windows が起動しないときは

- 1 パソコンの電源を切る。
- 2 約 30 秒以上経過後、パソコンの電源を入れる。
- 3 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に **[F2]** または **[Del]** を押す。
- 4 パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、**[Enter]** を押す。



メモ

下記の画面が表示された場合は、ストレージパスワードを入力し、**[Enter]** を押してください。



セットアップユーティリティを終了する

- 1 **[F4]** または **[Esc]** を押して、「終了」メニューを表示する。
- 2 [設定を保存して再起動] または [設定を保存しないで再起動] を選んで **[Enter]** を押す。
- 3 [はい] を選んで **[Enter]** を押す。

セットアップユーティリティ

ユーザーパスワードで制限される項目

「Windows 動作中から起動する」(➡ 20 ページ) の手順 **3** で入力したパスワードの種類によって、表示 / 設定できる項目が異なります。

本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。管理者以外の人には、ユーザーパスワードだけを教えておきます。これにより、設定を変更されるのを防ぐことができます。

● スーパーバイザーパスワードを入力した場合

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

● ユーザーパスワードを入力した場合

次のような制限があります (可能：○、不可能：×)。また、各項目の設定値を工場出荷時の値 (パスワード、システム時間、システム日付を除く) に戻す **[F9]** は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー：[UEFI 優先度]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[Boot Popup Menu]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[再起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[復帰時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー：[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[ユーザーパスワード設定]	○	○※1
「セキュリティ」メニュー：[サインイン セキュリティの強化]	○	×
「セキュリティ」メニュー：[ストレージセキュリティ設定 (TCG)]	×※2	×※2
「セキュリティ」メニュー：[内蔵セキュリティ (TPM)]	○	×※2
(指紋センサー搭載モデルのみ) 「セキュリティ」メニュー：[指紋認証セキュリティ]	○	×
(AMT 搭載モデルのみ) 「セキュリティ」メニュー：[AMT 設定]	×※2	×※2
(AMT 搭載モデルのみ) 「セキュリティ」メニュー：[管理設定]	×※2	×※2
「セキュリティ」メニュー：[DFCI 設定]	○	×※3
「セキュリティ」メニュー：[セキュアブート]	○	×
「終了」メニュー：[デフォルト設定]	×	×
「終了」メニュー：[デバイスを指定して起動]	×※4	×※4

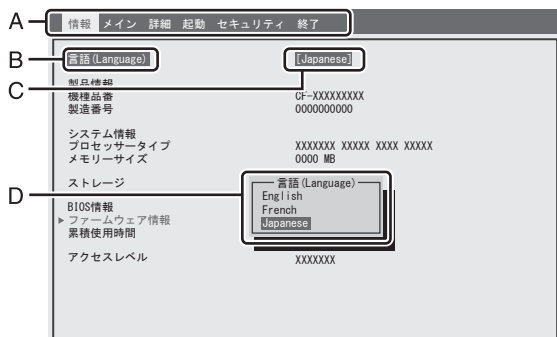
※1 [ユーザーパスワード保護] が [保護しない] に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

※2 サブメニューの [設定サブメニュー保護] が [保護しない] に設定されている場合は、設定サブメニューの参照 / 変更が可能 ([設定サブメニュー保護] を除く)。

※3 Opt-out のみ変更不可。

※4 [Boot Popup Menu] が [有効] に設定されている場合は選択が可能。

セットアップユーティリティを操作する



(画面は一例です。機種によって異なる場合があります)

- ←→を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。
- 選択できる項目が複数ある場合は↑↓を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。
- Enterを押すと、サブメニューを表示させることができます。
- サブメニューが表示されているときは↑↓を押して項目を選ぶことができます。

設定に使うキー

←→ : 「情報」「メイン」「詳細」「起動」「セキュリティ」「終了」の各メニューを選択。

↑↓ : カーソルを上下に移動 (項目を選ぶときに使用)。

Enter : ↑↓で項目を選んだ後に設定できる各項目のサブメニューを表示。

F5 : 各項目の前候補を選択 (設定値の変更時に使用)。

F6 : 各項目の次候補を選択 (設定値の変更時に使用)。

F1 : 一般のヘルプを表示 ([OK] を選ぶとヘルプの画面を閉じる)。

F9 : 各項目の設定値を工場出荷時の値 (パスワード、システム時間、システム日付を除く) に戻す。

F10 : 設定を保存して再起動。

Esc : サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

セッアップユーティリティ

「情報」メニュー

(アンダーラインは工場出荷時の設定)

メニュー	働き	選択項目
言語 (Language)	セッアップユーティリティの言語を選択します。	English French <u>Japanese</u>
製品情報 機種品番 製造番号 システム情報 プロセッサタイプ ブランドタイプ メモリーサイズ ストレージ BIOS 情報 ファームウェア情報 累積使用時間 アクセスレベル	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。 機種によっては表示されません。 BIOS のバージョン、電源コントローラーのバージョンなど、ファームウェアの各項目の情報をサブメニューで確認できます。	

「メイン」メニュー

(アンダーラインは工場出荷時の設定)

メニュー	働き	選択項目
システム日付	[Tab] でカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、[F5] [F6] で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx(x)]
システム時間	24 時間制です。[Tab] でカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、[F5] [F6] で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

メニュー	働き	選択項目
Fn/Ctrl キー	内蔵キーボードの [Fn] と [Ctrl] の機能を入れ換えずに工場出荷時のまま使う (標準) / 入れ換えて使う (入れ換え) を設定します。	<u>標準</u> 入れ換え
充電中 バッテリー状態 表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する (点灯) / 明滅する (明滅) を設定します。	<u>点灯</u> 明滅
Power On AC	AC アダプターを接続したときに本体の電源が入る機能を使用する (有効) / 使用しない (無効) を設定します。	<u>無効</u> 有効
充電モード	バッテリーパックの充電中の充電優先モード / 通常モードを設定します。「充電優先モード」の設定では、バッテリー残量が約 50% 以下の場合、CPU の最大性能を制限することにより、充電時間を短縮することができます。	通常モード <u>充電優先モード</u>

セッアップユーティリティ

メニュー	働き	選択項目
資産管理番号設定	資産管理番号を設定します。 セッアップユーティリティの起動中は、キーボードの入力は英語キーボードの配列に従います。英語キーボード以外の場合は入力に気を付けてください。	サブメニュー表示
起動時の資産管理番号表示	起動時に資産管理番号を表示する（有効）／しない（無効）を設定します。	無効 有効

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
CPU設定	CPUの設定に関するサブメニューを表示します。 • Intel(R) Hyper-Threading Technology Intel(R) Hyper-Threading Technologyを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 （インテル® スレディング・テクノロジーが使用できないモデルの場合は表示されません） • Intel(R) Virtualization Technology Intel(R) Virtualization Technologyを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。[有効]に設定すると、Intel(R) Virtualization Technologyに対応した仮想化ソフトウェアを使用する場合に、CPUの負荷を軽減することができます。 • Intel(R) VT-d Intel(R) Virtualization Technology for Direct I/Oを使用しない（無効）／使用する（有効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 （インテル® VT-dが使用できないモデルの場合は表示されません） • Intel(R) Trusted Execution Technology Intel(R) Trusted Execution Technologyを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。（インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できないモデルの場合は表示されません） [Intel(R) VT-d]が[有効]に設定されている場合のみ設定できます。 • Intel(R) Total Memory Encryption Intel(R) Total Memory Encryptionを使用する（有効）／使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[無効]です。 （インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できないモデルの場合は表示されません） [Esc]を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セットアップユーティリティ

周辺機器設定

メニュー	働き	選択項目
LAN	内蔵LANの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
Power On by LAN 機能	LAN経由でパソコンの電源を入れるPower On by LAN機能を使用しない（禁止）/使用する（許可）を設定します。「許可」の設定では、LAN経由で電源を入れた場合、起動時のパスワード入力画面は表示されなくなります。	禁止 許可
無線設定	搭載されている無線機能の設定に関するサブメニューを表示します。 • Wi-Fi 内蔵無線LANの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Bluetooth Bluetoothの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 • ワイヤレスWAN（ワイヤレスWAN搭載モデルのみ） ワイヤレスWANの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 Bluetoothを[有効]に設定すると、Wi-Fiは[有効]になり選択ができなくなります。 Bluetoothを[無効]に設定すると、Wi-Fiは選択可能になります。 Wi-Fiを[無効]に設定すると、Bluetoothは[無効]になり選択ができなくなります。 [Esc]を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー 表示
USB Type-C ポート	本機のUSB Type-C ポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
USB Type-A ポート	本機のUSB Type-A ポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
カメラ	カメラを「有効」または「無効」に設定します。 ※カメラに付属している内蔵マイクも無効になります。	無効 有効

「起動」メニュー

(アンダーラインは工場出荷時の設定)

メニュー	働き	選択項目
Boot Mode	Boot Modeを低速にしない(通常) / 一部のUSB機器に対応するためBoot Modeを低速にする(互換)を設定します。「通常」の設定では、Windowsの起動画面が表示されるまでの時間を短縮します。USB機器から正しく起動できない場合は[互換]に設定して試してください。ただし、[互換]に設定すると、Windowsの起動画面が表示されるまでの時間は、[通常]に設定したときよりも長くなります。	<u>通常</u> 互換
UEFI 優先度	- オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。 ①   で[先に起動させたいデバイス]を選択し、 を押す。 たとえば、IPv4でのLAN Bootを最優先で起動したい場合： ① 「起動オプション #1」を選択し、 を押す。 ② 「UEFI: xxx IPv4 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx」を選択し、 を押す。 (通常は、Windows Boot Managerを起動オプション#1にして使用することを推奨します。 「デフォルト設定」にすると、起動オプション#1 に Windows Boot Managerが、#2にWindows Recovery Environmentが設定されます) - UEFI 起動デバイス制御 どのデバイスからの起動を有効/無効にするかを設定します。 たとえば、「LAN UEFI 起動」を選択した場合、LANからのUEFI起動を「有効」にするか「無効」にするかを設定することができます。	

セットアップユーティリティ

メモ

- 外付け光学式ドライブから起動するときなど、一度だけ通常と異なる優先順位で起動する場合は、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んで[Enter]を押してください。
「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下にデバイス名を表示させるには、
① 外付け光学式ドライブに起動メディアをセットしてからパソコンを再起動する。
② 再度セットアップユーティリティを起動し、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んで[Enter]を押す。
- USBポートに接続している機器から起動するときは、次の設定になっていることを確認してください。
・「詳細」メニューの[USBポート (Type-C)]/[USBポート (Type-A)]が[有効]

「セキュリティ」メニュー

(アンダーラインは工場出荷時の設定)

起動時の表示設定

メニュー	働き	選択項目
Boot Popup Menu	起動後すぐに[Esc]を押すと表示できる起動デバイスの選択画面を表示させない(無効)/表示させる(有効)を設定します。[有効]に設定すると、セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合でも「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の項目が選べるようになります。	無効 有効
起動時のパスワード	高速スタートアップ無効時のシャットダウンまたは、[Shift]を押しながらシャットダウンした場合の次回起動時スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない(無効)/必要とする(有効)を設定します。	無効 有効
再起動時のパスワード	Windowsを再起動したときにスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要としない(無効)/[起動時のパスワード]の設定と同じ動作にする(起動時に同じ)を設定します。	無効 起動時に同じ
復帰時のパスワード	休止状態からの復帰時およびWindowsの高速スタートアップ時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない(無効)/必要とする(有効)を設定します。[起動時のパスワード]が[有効]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー 表示
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する(保護しない)/許可しない(保護する)を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。また、セットアップユーティリティの起動時に、スーパーバイザーパスワードでなくユーザーパスワードを入力すると、一部の設定は変更できません。	サブメニュー 表示

セットアップユーティリティ

メニュー	働き	選択項目
サインイン セキュリティの 強化	サインイン セキュリティの強化を「有効」または「無効」に設定します。 設定を変更すると、WindowsのPINでの認証、指紋認証（対応モデルのみ）、顔認証（Windows Hello）が動作しなくなることがあります。	無効 <u>有効</u>
ストレージ セキュリティ 設定（TCG）	SSDに関するセキュリティポリシーやパスワードを設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 - 設定サブメニュー保護 サブメニューの項目の変更をユーザーに許可するかどうかを設定します。工場出荷時の設定は[保護する]です。 - セキュリティポリシー Windowsやセットアップユーティリティなどを起動したときに、[ストレージパスワード]の入力を省略する（簡易）／入力をする（高度）を設定します。工場出荷時の設定は[簡易]です。 - ストレージパスワード設定 スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードとは別に、SSDのセキュリティ用に設定するパスワードです。 - ストレージセキュリティ状態 サブメニュー表示で、SSDの詳細情報（セキュリティロック状態やストレージパスワード設定状態など）が確認できます。	サブメニュー 表示
内蔵セキュリ ティ（TPM）	内蔵セキュリティチップ（TPM）の設定に関するサブメニューを表示します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 - 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）]を表示する（保護しない）／表示しない（保護する）を設定します。工場出荷時の設定は[保護する]です。 - 待機中のTPM操作 [所有者情報の初期化]を選択すると、内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化し、内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。 BitLockerが有効な状態で実行すると、Windowsの再インストールが必要となる場合がありますので、ご注意ください。（Windows 11 Proのみ） [Esc]を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。 - Block SID Authentication（一部の機種のみ表示） Block SID Authentication コマンドを実行するかどうかを選択します。工場出荷時の設定は[常に実行]です。	サブメニュー 表示
指紋認証 セキュリティ （指紋センサー 搭載モデル のみ）	搭載されている指紋認証機能の設定に関するサブメニューを表示します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 - 設定サブメニュー保護 サブメニューの項目の変更をユーザーに許可するかどうかを設定します。工場出荷時の設定は[保護する]です。 - パワーオンセキュリティ 指紋認証により起動を許可するかどうかを設定します。この機能を使用するためには、指紋データの登録が必要です。 工場出荷時の設定は[無効]です。 - 指紋データの消去 指紋データが登録されている場合のみ表示します。 指紋データを消去すると、Windows Hello 指紋認証で登録したすべてのユーザーアカウントの指紋データが削除されます。	サブメニュー 表示

セットアップユーティリティ

メニュー	働き	選択項目
AMT 設定 (AMT 搭載 モデルのみ)	インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーに関するサブメニューを表示します (インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できるモデルの場合のみ表示されます)。インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーは、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトと組み合わせて使うことで、ネットワーク上のパソコンの電源がオフの状態でも、ネットワーク管理者やシステム管理者がリモートでそのパソコンの情報を統合的に管理することができる機能です。 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用するには、設定が必要です。設定の際は、ネットワーク管理者またはシステム管理者に必ず確認してください。また、別途インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトも必要になります。ネットワーク管理者およびシステム管理者がいない場合は、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用しないことをお勧めします。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 - 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[AMT 設定] を表示する (保護しない) / 表示しない (保護する) を設定します。 工場出荷時の設定は [保護する] です。 - Intel(R) ME BIOS Extension 起動 Intel(R) Management Engine のセットアップを起動します。 - USB コンフィグ USB キー (USB メモリー (市販品)) を使ったコンフィグ機能を使わない (無効) / 使う (有効) を設定します。 工場出荷時の設定は [無効] です。 - AMT 設定のリセット Intel(R) ME BIOS Extension により設定された各項目を工場出荷時の状態に戻します。 [Esc] を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示
管理設定	Local Platform Erase 設定に関するサブメニューを表示します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 - 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[管理設定] を表示する (保護しない) / 表示しない (保護する) を設定します。 - Local Platform Erase 設定 プラットフォーム消去時の操作を設定します。	サブメニュー表示
DFCI 設定	DFCI (Device Firmware Configuration Interface) に関するサブメニューを表示します。 DFCI は、セットアップユーティリティの一部の項目を Microsoft Intune 経由で遠隔操作することができる機能です。 - Opt-in Microsoft Intune Server での DFCI デバイスの遠隔操作を許可する設定に変更します。 - Opt-out Microsoft Intune Server での DFCI デバイスの遠隔操作を許可しない設定に変更します。	サブメニュー表示
セキュアブート	セキュアブートの設定に関するサブメニューを表示します。 工場出荷時の設定を変更すると、インストール済みの OS が正しく動作しなくなることがあります。 [Esc] を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セッアップユーティリティ

セッアップユーティリティでパスワードを設定する

セッアップユーティリティでパスワードを設定すると、セッアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]に設定しておく、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。設定する前に、必ず『取扱説明書 操作マニュアル』「セキュリティ」の「セッアップユーティリティで起動時のパスワードを設定する」をご覧ください。

1 20ページの手順でセッアップユーティリティを起動する。

2 で[セキュリティ]を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：

 で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、を押す。

ユーザーパスワードを設定する場合：

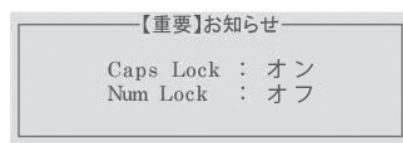
 で[ユーザーパスワード設定]を選び、を押す。

●ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

3 [新しいパスワードを入力してください]の[]の中に新しいパスワードを入力し、を押す。

●入力したパスワードは画面には表示されません。

●キーボードがキャップスロックオンになっていると、パスワードの設定時や入力時に右のような「【重要】お知らせ」画面が表示されます。



●パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号、スペースで最大32文字です。英字の大文字と小文字は区別されます。

・「¥」など、パスワードに使えない記号キーがあります。使えない記号キーを押してもパスワードには入力されません。

・数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。

・「【重要】お知らせ」画面が表示され「Caps Lock : オン」と表示されていると（Caps Lockランプが点灯）、パスワードが大文字で入力されます。

キーボードのキャップスロックの状態を確認してから、パスワードを入力してください。確認せずに入力すると設定したいパスワードと異なるパスワードが設定されてしまうおそれがあります。

●などのキーと組み合わせて入力することはできません。

4 [新しいパスワードを確認してください]の[]の中に手順**3**で入力したパスワードを再度入力し、を押す。

5 を押し、[はい]を選んでを押す。

セットアップユーティリティ



重要

パスワードは忘れないようにしてください。

- お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。

パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。

- スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合

有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。

- ユーザーパスワードを忘れてしまった場合

セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。

スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。

- 本機の修理を依頼される場合

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を解除しておいてください。

また、ストレージパスワードを設定している場合は、ストレージパスワードも解除しておいてください。

セットアップユーティリティ

ストレージセキュリティを設定する

内蔵のSSDを取り外して他のパソコンに取り付けても、SSD内に保存されている情報が読まれないようにストレージセキュリティの設定をします。

ストレージセキュリティは、データの完全な保護を保証するものではありません。

1 20ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。

パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、次の手順2で設定してください。

2 で[セキュリティ]を選ぶ。

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：

- ①   で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、 を押す。
- ② [新しいパスワードを入力してください]の[]の中に新しいパスワードを入力し、 を押す。
- ③ [新しいパスワードを確認してください]の[]の中に手順②で入力したパスワードを再度入力し、 を押す。

3 で[ストレージセキュリティ設定 (TCG)]を選び、 を押す。

4 で[セキュリティポリシー]を選び、[簡易]/[高度]を設定する。

5 で[ストレージパスワード設定]を選び、パスワードを設定する。

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- キーボードがキャップスロックオンになっていると、パスワードの設定時や入力時に右のような「【重要】お知らせ」画面が表示されます。

—【重要】お知らせ—

Caps Lock : オン
Num Lock : オフ

- パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号、スペースで最大32文字です。英字の大文字と小文字は区別されます。
 - ・「¥」など、パスワードに出来ない記号キーがあります。出来ない記号キーを押してもパスワードには入力されません。
 - ・ 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
 - ・ 「【重要】お知らせ」画面が表示され「Caps Lock : オン」と表示されていると (Caps Lockランプが点灯)、パスワードが大文字で入力されます。
キーボードのキャップスロックの状態を確認してから、パスワードを入力してください。
確認せずに入力すると設定したいパスワードと異なるパスワードが設定されてしまうおそれがあります。
-  などのキーと組み合わせて入力することはできません。

6 を押し、[はい]を選んで を押す。

セットアップユーティリティ

重要

ストレージパスワードは忘れないようにしてください。

- お客さまが設定されたストレージパスワードは、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。

設定内容は忘れないようにしてください。

- ストレージパスワードを忘れてしまった場合

有償での修理が必要になる場合があります。修理窓口へお問い合わせください。有償の修理が必要な場合はお持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。

SSDの内容とセットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。

- 本機の修理を依頼される場合

ストレージパスワードを解除しておいてください。

また、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定している場合は、両方とも解除しておいてください。

メモ

- スーパーバイザーパスワードを解除すると、[ストレージセキュリティ設定 (TCG)]のサブメニューに入れなくなりますが、設定されたストレージパスワードは解除されません。
- スーパーバイザーパスワードを解除すると、[セキュリティポリシー]を[簡易]に設定している場合でも、Windowsやセットアップユーティリティなどを起動するときに、ストレージパスワードの入力が必要になります。

セットアップユーティリティ

「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動します。
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存しないで再起動します。

保存オプション

メニュー	働き
設定を保存する	設定内容を保存します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。

メニュー	働き
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。

メニュー	働き
デバイスを指定して起動	OSを起動させるデバイスを指定します。次回起動時のみ選択したデバイスから起動します。 グレー表示になって選べない場合は、 [F10] を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

メニュー	働き
診断ユーティリティ	PC-Diagnosticユーティリティを起動し、ハードウェアの診断を行います。(➡47ページ) 実行すると再起動がかかります。再起動後診断ユーティリティが起動するまで何も押さないでください。 グレー表示になって選べない場合は、 [F10] を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態のQ&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、36～59ページで解決方法を確認してください。

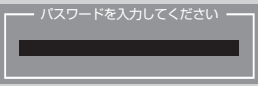
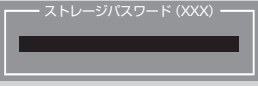
質 問	対 策
本機が起動しない/ バッテリー状態表示 ランプが点灯しない	お買い上げ後初めて電源を入れるときは、必ずACアダプターを接続してから電源を入れてください。
	ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。 ➡『取扱説明書 基本ガイド』
	しばらくしてから再度電源を入れてください。 CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	ACアダプターをコンセントなどから外し、1分以上待ってから再度接続してください。 ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。ACアダプターを接続し直して数分たってもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
電源は入るが Windowsが正常に 起動しない	電源状態表示ランプが点灯しているとき 電源スイッチを15秒以上押し続けて電源を切ってください。 電源スイッチを15秒間押し続けても電源が切れないときは、電源スイッチとホイールパッドの左ボタンを同時に10秒以上押し続けてください。 その後、再度電源を入れてください。
	お買い上げ後初めて電源を入れた場合 Windowsのセットアップ画面が表示されず、「コンピューターが予期せず再起動されたか、予期しないエラーが発生しました」というようなメッセージが表示される場合があります。これは、Windowsのセットアップが始まるまでにパソコンの電源が強制的に切れた場合（ACアダプターを抜いたり、ACアダプターを接続せずにセットアップしてバッテリー残量がなくなったりした場合）に表示されるメッセージで、再インストールを行うまでWindowsが使えなくなります。この場合は、再インストールをしてください。
	Windowsが起動しなくなった場合 SSD内のリカバリー領域のデータを使って再インストールしてください。 (➡52ページ)
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。 (➡23ページ)
電源を入れると 「Windowsを 再インストールする」 画面が表示される	USBメモリー（市販品）など、周辺機器を取り外してください。 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。 (➡23ページ)

質 問	対 策
Windows 起動時に音が途切れる	Windows の処理状況によっては、Windows 起動時に音が途切れる場合があります。 次の手順で起動時の音が鳴らないように設定することができます。 ① (タスク バーの  をクリック) -  (設定) - [個人用設定] をクリックする。 ② [テーマ] - [サウンド] をクリックし、[Windows スタートアップのサウンドを再生する] をクリックしてチェックマークを外し、[OK] をクリックする。
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された	再インストールを行い、SSD の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。(➡52 ページ)
ユーザー名を変更したらサインインできなくなった	変更前のユーザー名でサインインしてみてください。 ユーザー名は「名前」と「フルネーム」という 2 種類の名前で管理されています。
Windows の起動や動作が遅い	お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。 なお、Windows の動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。
スリープ状態/休止状態からリジューム(復帰)しない	次のような場合は、電源スイッチを操作して電源を入れてください。 なお、保存していないデータは失われます。 ・スリープ状態のとき、AC アダプターおよびバッテリーパックを取り外した。 ・周辺機器の取り付け/取り外しを行った。 ・電源スイッチを 15 秒以上操作して強制終了した。 AC アダプターを接続し、リジュームしてください。 バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。
予期せずに休止状態に入った	パソコンが高温になった場合、過熱を防止するために休止状態に入ることがあります。 周辺機器を外してしばらく待って温度が下がってからリジュームしてください。 温度が十分下がらないうちにリジュームすると、再度自動的に休止状態に入る場合がありますので、ご注意ください。

36 ～ 37 ページの方法で解決しない場合は、下記手順をお試しください。

- ①「ハードウェアを診断する」(➡47 ページ)
- ②「再インストールする」(➡52 ページ)

質 問	対 策
顔認証搭載モデルをお使いの場合、Windows Hello (顔認証) でサインイン (復帰) できない	メガネやマスクなどを装着している場合は、外してお試してください。 Windows Helloのセットアップ時に登録したデータと異なる状態では、顔認証がうまくいかない場合があります。 また、認証精度を高めるためには、顔認証の追加登録が有効です。 「顔認証搭載モデルをお使いの場合、屋外でWindows Helloの顔認証によるサインインができない」(➡39ページ) パスワードを使ってサインインしてください。 ① ロック画面を上にもスワイプする。 ② [サインインオプション]をクリックし、Windowsパスワードを選択する。 ③ Windowsパスワードを入力して、[Enter]を押す。
電源が切れない (Windowsが終了しない)	周辺機器を取り外してからWindowsを終了してください。 周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。 ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、(タスクバーのをクリック)- (設定)-[アプリ]-[インストールされているアプリ]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトの右端にある「…」をクリックし、[アンインストール]をクリックして削除してください。 削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトの問題が考えられます。ソフトのメーカーにお問い合わせください。 次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 ① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ② (タスクバーのをクリック)-[すべて]-[Windows ツール]-[PC]をクリックし、[Windows (C:)]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ③ [ツール]をクリックして、[チェック]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。標準ユーザーでサインインしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。 ④ エラーが発生した場合は、画面の指示に従って操作してください。 チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容により異なります。 チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、SSDをお買い上げ時の状態に戻してください。(➡52ページ)

質 問	対 策
パスワードを入力しても再度入力を求められる	Ⓐ ランプが点灯している場合は、[Shift]を押しながら[Caps Lock]を押してキャップスロックを解除してから入力してください。 セットアップユーティリティのパスワードを入力する場合、キャップスロックになっていると、その状態をお知らせする「【重要】お知らせ」画面が表示されます。 パスワード設定時に使用したキーボードで入力してください。 内蔵キーボード、USBキーボードなどはキー配列が一部異なるものがあります。
キーを押しても文字が入力されない	Fnキーがロックされている場合があります。 [Fn] を1回押してロックを解除してから入力してください。
「パスワードを入力してください」が表示された 	スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。 スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。 ユーザーパスワードを忘れてしまった場合は、セットアップユーティリティを起動して、パスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力してください。 ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
「ストレージパスワード(XXX)」が表示された 	ストレージパスワードを入力してください。 ストレージパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要になる場合があります。ご相談窓口にご相談ください。
ストレージパスワードが設定されているか確認したい	① セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「ストレージセキュリティ設定(TCG)」をクリックし、「ストレージセキュリティ状態」の下にあるストレージをクリックする。 (スーパーバイザーパスワードが設定されている必要があります) ② 「ストレージパスワード設定状態」を確認する。
顔認証搭載モデルをお使いの場合、屋外でWindows Helloの顔認証によるサインインができない	屋内で顔認証用の顔登録をした場合、屋外では顔認証によるサインインができない場合があります。そのときは認証精度を高めるために、下記の手順で屋外での顔認証の追加登録をしてください。 ① (タスクバーの  をクリック) -  (設定) - [アカウント] - [サインインオプション] - [顔認識(Windows Hello)] - [認識精度を高める] - [開始する]をクリックする。 ② 「ユーザーを確認しています」という画面で、PINを入力する。 ③ 顔認証の追加登録が開始されるので、画面の指示に従う。 屋外での顔認証の追加登録が失敗するときは下記をお試しください。 ・日陰に入り、光を反射しづらい壁などを背にして顔認証登録をする。 ・日陰がない場合は、ディスプレイを垂直にした上で、顔で太陽光を遮るようにして顔認証登録をする。

質 問	対 策
管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを忘れた	他の管理者のユーザーアカウントでサインインし、忘れてしまったパスワードを削除してください。 ① (タスク バーのをクリック)-[すべて]-[Windows ツール]-[コントロール パネル]-[ユーザー アカウント]をクリックする。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。 ② [ユーザー アカウントの削除]をクリックし、パスワードを忘れてしまったユーザーアカウントをクリックする。 ③ [パスワードの変更]をクリックし、設定画面で新しいパスワードとパスワードのヒントを入力し、[パスワードの変更]をクリックする。 他に管理者のユーザーアカウントを作成していない場合は、再インストールして、SSD を初期状態に戻す必要があります。ただし、再インストールをすると、作成したデータやインストールしたアプリケーションソフト、メールの履歴などは消去されます。
	パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示される[パスワードのリセット]をクリックし、表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定することができます。 パスワードリセットディスクで解除できるのは、各ユーザーアカウントのWindowsパスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。セットアップユーティリティのパスワードは忘れないように注意してください。 パスワードリセットディスクを作成するには、次の手順をご覧ください。 ① (タスク バーのをクリック)-[すべて]-[Windows ツール]-[コントロール パネル]-[ユーザーアカウント]をクリックし、[ユーザーアカウント]をクリックする。 ② USBメモリー (市販品)などのメディアを接続する。 ③ [パスワード リセット ディスクの作成]をクリックする。 以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。
Windows が起動せず、数字またはメッセージが表示された	システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」(⇒57ページ)の内容に従って操作してください。
	「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、37ページをご覧ください。

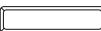
バッテリーのQ&A

質 問	対 策
カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短い	バッテリーの駆動時間は、使用環境などによって異なります(⇒19ページ)。 また、本機は満充電容量を段階的に抑制して、バッテリーパックを長寿命化しています。
バッテリーパックの交換時期(寿命)を知りたい	バッテリーパックを正しく充電してもバッテリーの駆動時間が著しく短い場合は、バッテリーパックの寿命と考えられます。新しいバッテリーパックと交換することをお勧めします。
バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯している	バッテリーの残量が少なくなっています(残量約9%以下)。 ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターを接続しないまま使用を続け、バッテリー残量がなくなると、保存されていないデータが失われる場合があります。
バッテリー状態表示ランプが赤色に点滅している	すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでもバッテリー状態ランプが赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。速やかにバッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、ご相談窓口にご相談ください。
バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点滅している	次のどちらかの状態が考えられます。 ●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ●アプリケーションソフトや周辺機器(USB機器など)が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトを終了し、周辺機器を取り外します。電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。 ●USB Power Deliveryで充電している場合 接続された機器の電力が不足しているときにオレンジ色点滅します。詳細は、『取扱説明書 操作マニュアル』『周辺機器』の「USB Power Deliveryで本機を駆動/充電する」をご覧ください。
バッテリー状態表示ランプが緑色に点滅している	バッテリーパック内部の温度が高温(約45℃以上)の場合にバッテリーの劣化を防止するため、あるいは満充電容量を段階的に抑制してバッテリーパックを長寿命化するため、他のバッテリーやACアダプターからの電力供給を止めてバッテリーの電力を消費している状態です。そのままお使いください。 バッテリーパックは取り外さないでください。
「バッテリー残量表示補正」画面が表示された	バッテリー残量表示補正を実行した後、「Windowsを終了します」という画面で「いいえ」をクリックした可能性があります。「いいえ」をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。 ●Windowsを起動するには、電源スイッチを操作して電源を切り、もう一度電源を入れてください。

ポインターと画面表示のQ&A

質 問	対 策
ホイールパッド 使用時ポインターが 動かない	キーボードを操作し、外部マウスのドライバーを削除してください。 ① 管理者のユーザーアカウントでサインインし、を押しながらRを押す。 ② 「devmgmt.msc」と入力してEnterを押す。 ③ Tabを押し、$\downarrow$を数回押して[マウスとそのほかのポインティングデバイス]を選び、Enterを押す。 ④ [Synaptics...]以外の名前が表示されている場合、$\downarrow$で外部マウスのドライバーを選び、Del、Enterの順に押し削除する。 ⑤ 再起動確認の画面で[はい]を選び、Enterを押す。 ⑥ $\text{Win} + \text{X}$を押しながらRを押す。 ⑦ 「c:\¥util¥drivers¥mouse_suf¥Pinstall.bat」と入力してEnterを押す。 ⑧ 画面の指示に従ってSynapticsのドライバーをインストールする。
	(タスク バーのをクリック)- (設定)-[Bluetoothとデバイス]-[タッチパッド]をクリックすると表示される画面で、[マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない]のチェックマークを外している場合、USBマウスを接続するとホイールパッドが無効になります。
ポインターが勝手に 動く	外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください。 上記「ホイールパッド使用時ポインターが動かない」の1つ目の項目の手順①～⑤をご覧ください。
	ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。 「ホイールパッドを使う」をご覧ください。➡ 15 ページ
タップしたときに ポインターが飛ぶ	ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。 「ホイールパッドを使う」をご覧ください。➡ 15 ページ
マウス接続時 ポインターが 動かない	マウスが正しく接続されているか確認してください。
	接続したマウスのドライバーをインストールしてください。 外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。
	お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。 不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。
残像が表示される	長時間同じ画像を表示し続けると、新しい画像に切り替えても前の画像がディスプレイにうっすらと残ることがあります。この現象を「残像」と呼びます。以下の対応により残像を抑制できます。 ● スクリーンセーバーを使用する。 (タスク バーのをクリック)- (設定)-[個人用設定]-[ロック画面]-[スクリーン セーバー]をクリックする。 ● 「画面とスリープ」で、ディスプレイを切る時間を設定する。 (タスク バーのをクリック)- (設定)-[システム]-[電源とバッテリー]-[画面とスリープ]をクリックする。

質 問	対 策
マウス接続時 ホイールパッドを 無効にする	(タスク バーの  をクリック)-  (設定)-[Bluetoothとデバイス]- [タッチパッド]-[タッチパッド]をクリックすると表示される画面で、 [マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない]のチェックマークを 外している場合、USBマウスを接続するとホイールパッドが無効になり ます。(⇒15ページ)
画面が暗い/ 明るさが変わった (暗くなった/明るく なった)	 キーを使うことで、明るさを変更できます。  +  : 画面が暗くなります。  +  : 画面が明るくなります。 ⇒11ページ
画面に黒い点や、 緑、赤、青のドット が残ったり、正しい 色が表示されない/ 画面の色や明るさに むらが見える	これらは故障ではありません。 - 本機に搭載のカラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていま すが、画素欠けや常時点灯 (赤、青、緑色) するものがあります。 (有効画素：99.998%以上、画素欠けなど：0.002%以下) - 液晶ディスプレイの構造上の特性により、見る角度によって色や明るさ にむらが見える場合があります。また、画面の色合いは製品によって 異なる場合があります。
文字がにじんだり ぼやけたりする	画面の解像度をLCDのドット数よりも小さくすると、LCDのドット数に 合うように画面が引き伸ばされて表示されます。このため、文字がにじ んだようになりますが、故障ではありません。 文字をにじませず、大きく表示させたいときは、解像度を変更せず、 次の方法をお試ください。 Microsoft Edge、WordやExcelなどのアプリケーションソフトの フォントサイズを拡大表示する場合： 各アプリケーションソフトの表示拡大機能を使う。
画面が乱れる	本機を再起動してください。 解像度を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り 外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。
一瞬真っ黒になる	サインインやサインアウト、ユーザーの切り替えや画面を回転させた後 に、画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。 そのままお使いください。 ユーザーアカウント制御を設定している場合、シールドが表示されて いる操作を行うと「ユーザーアカウント制御」画面が表示され、この画面 以外の部分が暗くなります。 管理者のユーザーアカウントでサインインしている場合は、[はい]を クリックしてください。 標準ユーザーでサインインしている場合は、管理者のユーザーアカウント のWindowsパスワードを入力し、[はい]をクリックしてください。

質 問	対 策
何も表示されない	電源状態表示ランプが点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。 Ctrl や Shift など動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、（スペースキー）、Esc、Y、N）や数字キーなどは使わないでください。 次の手順で、ディスプレイの電源が切れないように設定してください。 ①（タスクバーのをクリック）->（設定）-[システム]-[電源とバッテリー]をクリックする。 ② [画面とスリープ]をクリックし、バッテリー駆動時、電源に接続時ごとに「次の時間が経過した後に画面の電源を切る」の設定時間を「なし」に設定する。
	画面の表示モードが内部LCD以外に設定されている可能性があります。 Fn + F3 または  + P を押して表示モードを切り替えてください。 Fn + F3 または  + P を続けて押す場合は、画面の表示モードが完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。 Fn + F2 を押して画面を明るくしてください。（➡11ページ）
	電源状態表示ランプが点滅または消灯している場合は、スリープ状態または休止状態になっています。 電源スイッチを操作してください。

リカバリーディスクのQ&A

質 問	対 策
リカバリーディスクの作成方法がわからない	「使用上のお願い」「リカバリーディスクの作成方法について」をご覧ください。(➡9ページ)

質 問	対 策
仕様がわからない	『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」をご覧ください。
Windowsの操作がわからない	『取扱説明書 Windows入門ガイド』または、『取扱説明書 操作マニュアル』「重要な情報、操作や設定について」「Windowsのヘルプを見る」をご覧ください。
周辺機器が動かない	『取扱説明書 操作マニュアル』「困ったときのQ&A」または、弊社のWebページの「FAQ」をご覧ください。 https://faq-pc-support.connect.panasonic.com/ 解決しない場合は、周辺機器のWebページや説明書などをご確認の上、周辺機器の相談センターへお問い合わせください。
アプリケーションソフトが動かない/おかしい	● 付属のアプリケーションソフトの問い合わせ先 (➡59ページ) ● その他のアプリケーションソフトの場合はアプリケーションソフトのWebページや説明書をご確認ください。

その他のトラブルについては『取扱説明書 操作マニュアル』「困ったときのQ&A」または、弊社のWebページの「FAQ」をご覧ください。

<https://faq-pc-support.connect.panasonic.com/>

ハードウェアを診断する

本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。

ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」(➡『取扱説明書 スタートガイド』)をご覧ください。

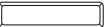
PC-Diagnostic ユーティリティで診断するハードウェア

診断するハードウェア	PC-Diagnostic ユーティリティの表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxxx MB
フラッシュメモリードライブ	Storage xxx GB
サウンド	SOUND
USB ポート	USB
内蔵キーボード	Keyboard
ホイールパッド	Touch Pad
無線LAN	Wi-Fi
ビデオコントローラー	Video
LAN	Wired LAN
Wireless WAN (ワイヤレスWAN搭載モデルのみ)	Cellular (WWAN)
Bluetooth	Bluetooth
指紋センサー (指紋センサー搭載モデルのみ)	Finger Print
カメラ	Front Camera または Camera

- Video 診断中に画面が乱れたり、Sound 診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。Sound 診断中は、大きなビープ音が鳴ることがありますので、ヘッドホンを装着しないでください。
- ソフトウェアは診断できません。

操作のしかた

ホイールパッドで操作することをお勧めします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内蔵キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内蔵キーボードの操作
アイコンを選ぶ	ポインターをアイコンの上に合わせる	    を押す
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする (右クリックは使えません)	アイコン上で  (スペースキー) を押す
PC-Diagnostic ユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の  をクリックする	 +  +  を押す

ホイールパッドが正しく動作しない場合は、 +  +  を押してパソコンを再起動するか、電源スイッチを操作して電源を切った後に、再度PC-Diagnostic ユーティリティを起動してください。

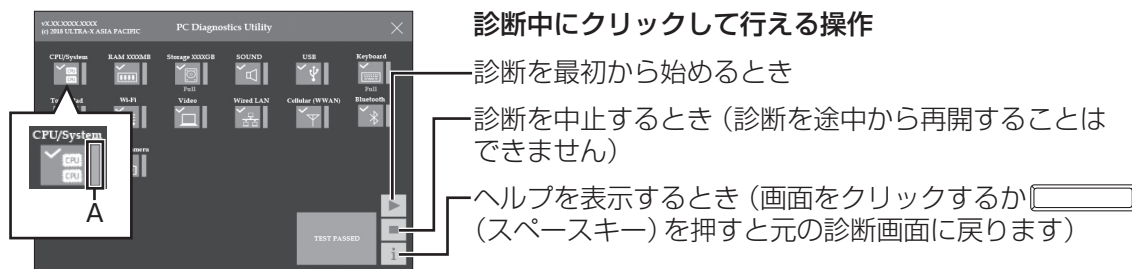
診断する

セットアップユーティリティを工場出荷時の状態にして実行します。診断するハードウェアがセットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になったり、正しく診断できない場合があります。

- 1 周辺機器を取り外す。**
- 2 AC アダプターを接続する。**
診断中は、AC アダプターの抜き差しや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。
- 3 無線機能をオンにする。**
• Windows の設定画面で無線機能をオンに切り替えてください。
- 4 20 ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。**
- 5  を押す。**
確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、 を押してください。
- 6  を押す。**
確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、 を押してください。
- 7 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に  または  を押してセットアップユーティリティを起動する。**
- 8  と  を使って「終了」メニューに移動する。**

9 ①と②を使って[診断ユーティリティ]を選び[Enter]を押す。

自動的に再起動してPanasonic画面を表示後、PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。(画面は英語です)
アイコンの右側 (A) に診断結果が表示されます。診断結果が表示されるまでは、ホイールパッドおよび内蔵キーボードを操作しないでください。



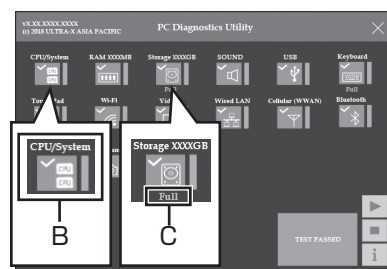
(画面は一例です)

- ハードウェアのアイコンの右側 (A) の進捗バーで診断状況が確認できます。
 - ・ 診断中は 進捗に合わせて緑色の進捗バーが上方向に伸びます。
 - ・ 診断中に中断された場合は進捗バーが黄色表示になります。
- 気温が高い場所でお使いの場合、表示される診断時間よりも長くなる場合があります。

メモ

- 次の手順で、特定のハードウェアのみを診断することができます。

- ① [] をクリックして診断を中止する。
- ② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示 (B) にする。
フラッシュメモリードライブ、内蔵キーボード、ホイールパッドの場合は、クリックすると拡張診断 (アイコンの下 (C) に「Full」と表示) になり、再度クリックするとグレー表示になります。
- ③ [] をクリックして診断を始める。



(画面は一例です)

- 拡張診断ができるハードウェアは、フラッシュメモリードライブ、内蔵キーボード、ホイールパッドです。
通常のご使用時は、拡張診断を行う必要はありません (これらの拡張診断は、ご相談窓口にお問い合わせいただいたときに診断を行っていただく場合があります)。SSDの拡張診断は、標準診断に比べて詳しい診断を行うため、診断時間が長くなります。

10 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

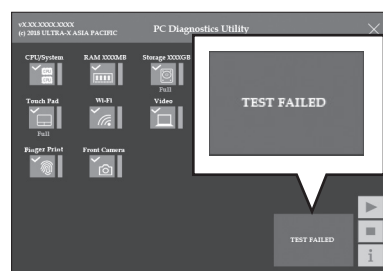
赤色になり「TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。

緑色になり「TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。それでも正しく動作しない場合は、再インストールしてください。(➡52ページ)



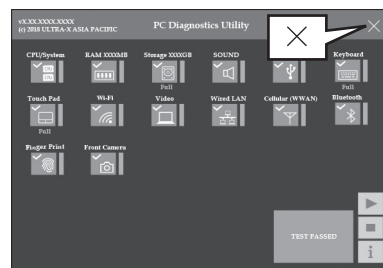
メモ

セットアップユーティリティが工場出荷時ではない状態でハードウェア診断を行った場合、一部のハードウェアが「TEST FAILED」と表示され、正しく診断されないことがあります。ハードウェア診断を行う前には、必ずセットアップユーティリティを工場出荷時の状態にしてください。



(画面は一例です)

11 診断が終了したら、画面右上の×をクリックするか、**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押してパソコンを再起動する。



(画面は一例です)

アイコンがグレー表示になり診断できない場合

次のような原因が考えられます。対策に記載されている操作を行ってください。操作を行ってもグレー表示になる場合は、ご相談窓口にご相談ください。

原因	対策（次の操作を行った後、再度診断してください）
セットアップユーティリティで対象のデバイスが無効に設定されている	セットアップユーティリティを起動し、対象のデバイスを[有効]に設定してください。
USBがグレー表示の場合： USBポートが無効に設定されている	セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで[USBポート]を[有効]に設定してください。
Bluetoothがグレー表示の場合	Windowsの設定画面で無線機能をオンに切り替えてください。

PCを初期状態にする

本機が正常に動作しなかったり不安定になった場合は、Windowsを初期状態に戻すと解決する場合があります。

写真、音楽、ビデオなどの個人的なファイルを保持するか削除するかを選んでからWindowsを再インストールできます。

初期状態にする

- 1 ACアダプターを接続する。
- 2 (タスクバーのをクリック)-
⚙️ (設定)-[システム]-[回復]をクリックする。
- 3 「このPCをリセット」の[PCをリセットする]をクリックする。
- 4 「オプションを選択してください」画面で[個人用ファイルを保持する]または[すべて削除する]を選んでクリックする。
- 5 <ネットワーク接続時のみ>
「クラウドからダウンロード」または「ローカル再インストール」をクリックして、Windowsを再インストールする方法を選択する。
- 6 「追加の設定」画面が表示されたら、[設定の変更]または[次へ]をクリックする。
 - 手順4で[個人用ファイルを保持する]を選んだ場合、以下の設定変更ができます。
 - ・ プレインストールされていたアプリを復元しますか？
 - ・ (ネットワーク接続時のみ)
Windowsをダウンロードしますか？
 - 手順4で[すべて削除する]を選んだ場合、以下の設定変更ができます。
 - ・ データのクリーニングを実行しますか？
 - ・ 職場のリソースを削除しますか？
 - ・ eSIMプロファイルを削除しますか？
 - ・ (ネットワーク接続時のみ)
Windowsをダウンロードしますか？

- 7 「このPCをリセットする準備ができました」画面が表示されたら、画面の内容をよく読んでから[リセット]をクリックする。

- ・ Windowsが初期状態となり、パソコンが再起動します。



メモ

<手順4で[個人用ファイルを保持する]を選んだ場合>

- 本機に付属していなかったアプリとプログラムは削除されます。
- ストア (Microsoft Store) からインストールしたアプリは残ります。
- 設定は初期状態に戻ります。
- パソコンが再起動するまで数時間かかる場合があります。

<手順4で[すべて削除する]を選んだ場合>

- 個人用ファイル、ユーザーアカウント、ストア (Microsoft Store) からダウンロードしたアプリ、個人でインストールしたアプリやプログラム、パーソナル設定をすべて削除します。
- 設定は初期状態に戻ります。
- パソコンが再起動するまで数時間かかる場合があります。

再インストールとは

再インストールとはSSDをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。SSDの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。また、お買い上げ後にお客さまがインストールされたアプリケーションソフトや各種設定（インターネットの設定など）も削除されます。

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合は、再インストールが必要です。

重要

SSD内のリカバリー領域は絶対に削除しないでください。削除すると、SSDからの再インストールができなくなります。

本機のSSDには、再インストールに必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があります。

- リカバリーデータを他のメディアにバックアップすることはできません。また、外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。

万一、リカバリー領域が壊れたり、SSDからの再インストールができなくなった場合は、リカバリーディスクを使用してください。（⇒55ページ）

- リカバリーデータはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

再インストールの流れ

必要なデータのバックアップを取る



ネットワークの設定、Microsoft アカウントをメモしておく。



セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。



内蔵セキュリティチップ（TPM）をクリアする。



再インストールする。



Windowsのセットアップを行う。



セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。



Windows Updateを行う。

再インストールの前に

周辺機器は、すべて取り外してください。特に、USB 接続のメモリーや外付けのハードディスクなどを接続したままでは、再インストールが正常に行われません場合があります。リカバリーディスクを使って再インストールする場合は、外付けの光学式ドライブは接続しておいてください。

 重要

- Opal 対応のストレージ暗号化ソフトウェアを導入している場合は、暗号化を解除してから再インストールしてください。暗号化解除の方法がご不明の場合は、お使いの暗号化ソフトウェアのご購入元にご相談ください。

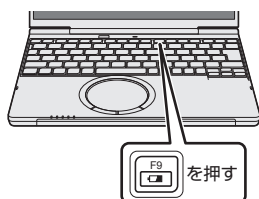
再インストールする

 重要

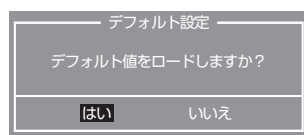
再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

- 1** 作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや外付けハードディスクなどにバックアップを取る。
再インストールすると、インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、削除されます。
- 2** ネットワークやセットアップユーティリティの設定をメモしておく。
再インストールすると現在の設定は工場出荷時の状態に戻ります。
- 3** Microsoft アカウントをメモしておく。
再インストールすると、Microsoft アカウントが削除されます。
- 4** パソコンの電源を切り、AC アダプターを接続する。
 - USB Power Delivery 対応の AC アダプターは出力容量などにより使用できない場合があります。
- 5** パソコンの電源を入れ、20 ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、**[Enter]** を押してください。

6 F9を押す。



7 次の画面で[はい]を選び、[Enter]を押す。



8 F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、[Enter]を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、[Enter]を押してください。

9 TPMをクリアする。

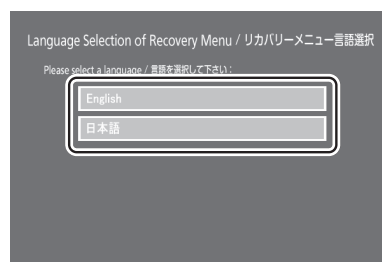
- ① (タスク バーの をクリック) - (設定)-[プライバシーとセキュリティ]-[Windows セキュリティ]をクリックする。
- ② [デバイス セキュリティ]をクリックし、「セキュリティ プロセッサ」の「セキュリティ プロセッサの詳細」をクリックする。
- ③ [セキュリティ プロセッサのトラブルシューティング]をクリックする。
- ④ [選択]をクリックし、TPMをクリアする理由を選択する。
- ⑤ [TPMのクリア]ボタンをクリックする。
- ⑥ 画面の指示に従い[クリアして再起動]をクリックする。

10 21 ページの「Windowsが起動しないときは」の手順でセットアップユーティリティを起動する。

11 と を使って「終了」メニューに移動する。

12 と を使って [Recovery Partition] を選び、[Enter]を押す。

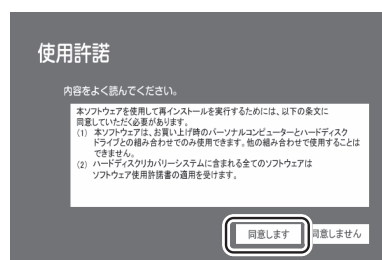
13 「リカバリーメニュー言語選択」画面が表示されたら、[English] または [日本語] をクリックする。



14 [リカバリー] をクリックする。 [キャンセル] をクリックすると、操作を中止できます。



15 「使用許諾」画面が表示されたら、[同意します] をクリックする。



- 16** [Disk 0 (または [Disk 1])] をクリックする。



- 17** [工場出荷状態に戻す] をクリックする。
(再インストールを開始します)



- 以降は画面の指示に従って、再インストールしてください。

- 18** 終了のメッセージが表示されたら、[シャットダウン] をクリックする。



パソコンが終了したら、再度電源を入れてパソコンを起動してください。

- 19** Windows のセットアップを行う。
(⇒『取扱説明書 基本ガイド』)

- 20** セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

リカバリーディスクを使う

次の場合は、リカバリーディスクを使って再インストールしてください。

- 「再インストールする」(⇒52 ページ) の操作が最後まで実行できない場合
(リカバリー領域が破損している可能性があります)。
リカバリーディスクを使った再インストールでは、リカバリーディスクに収録されている Windows がインストールされます。

リカバリーディスクの作成方法については、次の Web ページをご覧ください。

[https://jp-pc-support.connect.](https://jp-pc-support.connect.panasonic.com/recv/re231003)

[panasonic.com/recv/re231003](https://jp-pc-support.connect.panasonic.com/recv/re231003)

「リカバリーイメージ ダウンロードサービス」



重要

< Microsoft® Office インストール済みモデルのみ >

- 一度でもリカバリーディスクを使って Windows の再インストールを行うと、その後に SSD のリカバリー領域を使った Windows の再インストールを行っても Microsoft® Office はインストールされません。その場合は Microsoft® Office を再インストールする必要があります。詳しくは、上記の Web ページをご覧ください。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはSSD内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるSSDという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

SSD内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

ところが、このSSD内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、SSD内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがって、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのSSD内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、市販の専用ソフトウェアあるいはサービスの利用を推奨します。

また、リカバリーディスクを使って、SSD内に記録されたデータを、復元されにくいように消去できます。詳しくは次のWebページをご覧ください。

<https://jp-pc-support.connect.panasonic.com/recv/re231003>

「リカバリーイメージ ダウンロードサービス」



エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。

それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード/メッセージ	対 処
システムCMOS値が正しくありません。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
システムCMOSのチェックサムが正しくありません。	
日付と時刻の設定が正しくありません。20XX/01/01に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
< F2 >キーを押すとセットアップを起動します。	● エラー内容をメモした後、 [F2] または [Del] を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	起動しようとしたSSDにOS が正しくインストールされていません。 ● SSDから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでSSDが正しく認識されているか確認してください。 ・ 認識されている場合（「xxx GB」と表示）は、再インストールを行ってください。 ・ 認識されていない場合（「なし」と表示）は、ご相談窓口にご相談ください。 ● USBポートに機器を接続している場合は、取り外してください。
Disk error Press any key to restart	

セットアップユーティリティの起動方法：➡20ページ

お客様ご相談センター

Q&Aをご確認の上、解決しない場合は、弊社お客様ご相談センターへお問い合わせください。

パナソニックパソコン お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-873029** パナソニック

- ※携帯電話からでもご利用になれます。
- ※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。
- ・上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は

(06)7634-8459

受付時間: 9時～18時（月～土）
※日、祝日、12/31～1/3を除く

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております）
※中古製品および発売日から5年を越えた製品に対する技術相談料は有料です。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。『取扱説明書 スタートガイド』の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

※ 2025年5月現在の情報です。これらの内容は予告なく変更する場合があります。

最新の情報は、次のURLをご参照ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/pc_service-call

修理に関するお問い合わせ

- 1 付属の『修理依頼書』に記入する。
- 2 付属の『取扱説明書 スタートガイド』、またはWebの『取扱説明書 基本ガイド』で、修理に関する詳しい情報を確認し、修理窓口へ連絡する。

アプリケーションソフトの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、『取扱説明書 操作マニュアル』「アプリケーションソフト」や各アプリケーションソフトのヘルプやユーザーガイドを十分にご確認ください。

インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトのメーカーのホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご覧ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、お使いのパソコンの状況をご確認のうえ、下記へお問い合わせください。

※機種によって付属しているアプリケーションソフトが異なります。

(2025年5月現在)

●マカフィー・カスタマーサポート

対応内容	① インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 ② ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口
サポート ポータルページ および チャットでの お問い合わせ	https://www.mcafee.com/support/?page=shell&shell=contact-support

●「i-フィルター for マルチデバイス」30日間無料お試し版

窓口	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター
FAQ	https://www.daj.jp/cs/support/multidevice/contact/
電話	ナビダイヤル ☎ : 0570-00-1334
受付時間	平日・土日祝 10:00-18:00 (指定休業日を除く)
お問い合わせ フォーム	https://sec2.daj.co.jp/cs/support/multidevice/form/
URL	https://www.daj.jp/cs/products/multidevice/

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると考えられています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、上述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法的なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアをインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

本機には、「フィルタリング」機能をサポートするソフトウェアとして「i-フィルター for マルチデバイス」30日間無料お試し版が用意されています。「c:\util\ifilter」フォルダー内の「if6_..._64bit」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックし、セットアップしてください。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルター」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

フィルタリングに関する情報は、一般社団法人 電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「青少年が安全に安心してインターネットを利用するために～フィルタリング機能の活用（改訂）」でも確認できます。

https://home.jeita.or.jp/pc_tablet/news/20190125.html

（2025年5月現在）

さくいん

イ		コ		ヒ	
「i-フィルター for マルチ デバイス」	59	ご相談窓口	58	表示モードの切り替え	17
P		サ		ホ	
PC-Diagnostic ユーティリティ	47	再インストール	52	ホイールパッド	15
Q		ス		マ	
Q&A	36	スーパーバイザーパスワード	28, 31	マカフィー・カスタマー サポート	59
エ		ストレージセキュリティ設定	29, 33	ユ	
エラーコード	57	セ		ユーザーパスワード	28, 31
オ		セットアップユーティリティ	20	リ	
お手入れ	7	テ		リカバリーディスク	9, 45, 55
音声出力	17	データ消去	56	リカバリー領域	52
音声出力のオン/オフ	17	ハ			
音量調整	17	ハードウェアの診断	47		
カ					
画面の明るさ調整	11				
ク					
駆動時間	19				

- Microsoftとそのロゴ、Windows、Windowsロゴ、Outlook、OneDrive、Microsoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、インテル、Intelロゴ、Arc、Evo、Intel Core、Intel vPro、Iris、Thunderbolt、Thunderboltロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Wi-Fi はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック コネクト株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
- 「i-フィルター」はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Absolute、ComputraceおよびPersistenceは、Absolute Software Corporationの登録商標です。
- USB Type-C® およびUSB-C® はUSB Implementers Forumの商標です。
- ホイールパッド、COMFORTALKは、パナソニック ホールディングス株式会社の登録商標です。

その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では、™、®は一部明記していません。

- 本書や、その他の取扱説明書および付属印刷物の内容に関しては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書や、その他の取扱説明書および付属印刷物の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 本書や、その他の取扱説明書および付属印刷物のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書や、その他の取扱説明書および付属印刷物のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

愛情点検		長年ご使用のパソコンの点検を！	
	こんな症状はありませんか	• 内部に異物が入った • 異臭がする	ご使用 中止 故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口にて点検をご依頼ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒540-8553 大阪府大阪市中央区城見2丁目2番33号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2025

SS0625-0
20250021ZAD